

教育研究評議会報

総務部総務企画課

日 時 平成24年4月24日（火） 14:00～15:15

審議事項

- * 審議に入る前に、工学部長から、前回の教育研究評議会議事要旨の修正について依頼があり、一部文言を追記することが了承された。
- * 審議に入る前に、学長から新構成員等の紹介、西川副学長から新人事務系幹部職員の紹介があった。
- (1) 琉球大学自己点検・評価規則の一部改正（案）について
大城副学長から、琉球大学自己点検・評価規則の一部改正（案）について、資料に基づき説明があった。
小池監事から第1条規定の根拠規則に関し質問があった。このことについて、大城副学長から、確認後必要な修正等を加えたい旨回答があり、一部修正を行うことで了承された。
- (2) 琉球大学大学点検・評価連絡会規程の一部改正（案）について
大城副学長から、琉球大学大学点検・評価連絡会規程の一部改正（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。
- (3) 琉球大学評価センター規則の一部改正（案）について
大城副学長から、琉球大学評価センター規則の一部改正（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。
- (4) 学長選考会議委員（教育研究評議会代表）の選出について
総務企画課長から、学長選考会議委員（教育研究評議会代表）の選出について、資料に基づき説明があり、審議の結果、申合せどおり、教育研究評議会から選出される7人の学長選考会議委員を7学部長とすることで了承された。

報告事項

- (1) 全学教員人事委員会の審議結果について
大城副学長から、第109回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。
- (2) 平成24年度入学者数について
新里副学長から、平成24年度入学者数について、資料に基づき報告があった。
- (3) その他
 - ① 太平洋島嶼域海洋環境シンポジウムの開催について
国際課長から、太平洋島嶼域海洋環境シンポジウムの開催について、資料に基づき報告があった。
 - ② 日本学術会議九州・沖縄地区会議について
学長から、日本学術会議九州・沖縄地区会議代表幹事が来学し、九州・沖縄地区会議の沖縄開催について協力要請があった旨報告があった。

③平成２４年度入学式について

西川副学長から、平成２４年度入学式が無事行われた旨報告があり、教職員の協力に対し謝意があった。

④北朝鮮による「人工衛星」と称するミサイル発射に係る注意喚起への対応について

西川副学長から、本注意喚起への対応等について、各部局等の協力に対し謝意があった。

⑤平成２４年度前学期シラバス登録状況について

新里副学長から、平成２４年度前学期シラバス登録状況について、資料に基づき報告があり、登録へ協力いただきたい旨要請があった。

⑥医学部論文不正問題に関する検証委員会報告書について

前回の本評議会で配布された検証委員会の報告書について意見交換が行われ、評議員から、報告書の文言への指摘のほか、報告書の提案に関する今後の取扱いについて質問があり、大城副学長から、提案は本評議会に対するものであるため、その取扱いについては本評議会に一任したい旨回答があった。

また、学長から、不正防止について大学として検討していきたい旨発言があった。

なお、工学部長から、報告書の内容等について委員会を設置し、引き続き検討してはどうかとの提案があった。加えて、評議員から、本件の論文不正問題は新聞等で報道され、インターネットにも掲載されていることから、学内での対応状況等を外部に向けて発信することも検討する必要がある旨発言があった。

教育研究評議会報

総務部総務企画課

日 時 平成24年5月22日（火） 14:00～16:05

審議事項

(1) 東海大学（台湾）との大学間交流協定の締結について

国際課長から、東海大学（台湾）との大学間交流協定の締結について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

(2) キングモンクット工科大学ラートクラバン校（タイ）との大学間交流協定の締結について

国際課長から、キングモンクット工科大学ラートクラバン校（タイ）との大学間交流協定の締結について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

なお、国際課長から、校名の標記について、「ラカバン校」へ統一したい旨発言があった。

(3) 長崎県松浦市との鷹島神崎遺跡に関する連携協定の締結について

佐藤副学長から、長崎県松浦市との鷹島神崎遺跡に関する連携協定の締結について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

また、佐藤副学長から、6月4日に松浦市長が来学予定であり、その際に調印を行いたい旨説明があった。

(4) その他

① 平成23事業年度に係る業務の実績に関する報告（案）について

大城副学長から、平成23事業年度に係る業務の実績に関する報告（案）について、資料に基づき説明があり、本報告書（案）を各部局等に持ち帰り、意見等があれば提出いただきたい旨発言があった。

② 論文不正に係る学長共著論文に関する調査委員会報告書の公表について

論文不正に係る学長共著論文に関する調査委員会報告書の公表に関して、責任著者から異議申立てがあったことについて、その対応を協議した。調査委員会の世話人である小池監事から、これまでの経緯等について、資料に基づき説明があった。審議の結果、申立てを却下し、報告書を公表することが了承された。

なお、評議員から、公表の方法及び公表の時期について質問があり、総務企画課長から、本学の公式ホームページに掲載すること、申立人への回答後、早い時期に公表する意向である旨それぞれ回答があった。

報告事項

(1) 全学教員人事委員会の審議結果について

大城副学長から、第110回及び第111回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

(2) 平成23年度卒業生の進路状況について

新里副学長から、平成23年度卒業生の進路状況について、資料に基づき報告があった。

(3) その他

①「国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律」への対応について

西川副学長から、「国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律」への対応について、資料に基づき報告があった。

②リーディング大学院について

新里副学長から、平成24年度博士課程教育リーディングプログラムへの申請予定内容について、資料に基づき報告があった。

③医学研究科論文不正問題に関する検証委員会報告書について

工学部長から、前回の本評議会で提案した、検証委員会報告書の取扱いについて質問があり、学長から、新たに、各学部長、新里副学長、大城副学長、山崎副学長及びオブザーバーとして小池監事で構成する委員会を設置したい旨回答があった。

④法文学部棟に対する爆破予告への対応について

西川副学長から、5月17日に、法文学部棟の爆破を予告する内容の封書が事務室ドアに貼られていた件について報告があり、引き続き、法文学部長から補足説明があった。

また、西川副学長から、本件への対応について、問題点がなかったか評価を行う旨発言があり、学長から、見回りを強化する等の対応を取りたい旨発言があった。

なお、評議員から、法文学部棟のみの立ち入り禁止措置では不十分ではなかったか、各学部等への連絡周知が遅かったのではないかとの意見があった。

④太平洋・島サミットに関連する会議について

評議員より、太平洋・島サミットの開催に関連して、5月25日にアメリカの主席次官補が来学し、エネルギー関係の会議を開く旨報告があった。

⑤ハワイ大学へのシーサー寄贈について

学長から、ハワイ大学へシーサーを寄贈する旨報告があった。

教育研究評議会報

総務部総務企画課

日 時 平成24年6月26日（火） 14:00～15:55

審議事項

- (1)平成23事業年度に係る業務の実績に関する報告（案）について
大城副学長から、平成23事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。
なお、大城副学長から、今後、役員会の審議を経て文部科学省へ提出する予定である旨説明があった。
- (2)琉球大学学則の一部改正（案）について（組織に係る部分）
総務企画課長から、琉球大学学則の一部改正（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。
小池監事から、法人化後に大学の新しい業務として加わったものを、今後規程整備する必要があるのではないかととの質問があり、総務企画課長から、国立大学法人法及び学校教育法等を踏まえ法人基本規則という形で整備したい旨回答があった。
- (3)琉球大学学則の一部改正に伴う諸規則等の整備について
総務企画課長から、琉球大学学則の一部改正に伴う諸規則等の整備について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。
- (4)国立大学法人琉球大学ハラスメント防止対策に関する指針の一部改正（案）について
新里副学長から、国立大学法人琉球大学ハラスメント防止対策に関する指針の一部改正（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。
法文学部長から、「意に反する」から「意に沿わない」への変化の意味、およびTAや学外者は含まれているのかとの質問があり、新里副学長から、前者については後で報告する、後者については「等」の中に含まれている旨回答があった。
評議員から、周知の方法について質問があり、新里副学長から、今後説明会等を開く予定はないこと、周知については学部長への資料配付並びに入学式のオリエンテーションで周知を行いたいと考えているが、周知の状況を見て必要があれば学部での説明会なども考えたい旨回答があった。
- (5)大学教員の公募文書に記載する「女性研究者の積極的採用のためのポジティブアクションプログラム」（案）について
新里副学長から、大学教員の公募文書に記載する「女性研究者の積極的採用のためのポジティブアクションプログラム」（案）について、資料に基づき説明があった。
法文学部長から、一部文言に関して質問があり、新里副学長から必要な修正を加えたい旨回答があり、一部修正を行うことで了承された。

報告事項

- (1)国立大学法人琉球大学役員報酬規程の一部改正（案）について
- (2)国立大学法人琉球大学職員給与規程の一部改正（案）について
- (3)国立大学法人琉球大学非常勤職員給与規程の一部改正（案）について
- (4)国立大学法人職員の育児・介護休業等に関する規程の一部改正（案）について
- (5)国立大学法人琉球大学に勤務する職員の労働時間等に関する規程の一部改正（案）について
- (6)国立大学法人琉球大学非常勤職員の労働時間等に関する規程の一部改正（案）について

西川副学長から、「国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律」への対応に係る関連規程の一部改正（案）について、資料に基づきそれぞれ説明があり、改正に当たり、労働組合と交渉を行ったが、結果として交渉は決裂し、学長宛に抗議決議書が提出されている旨報告があった。

今後の対応として、西川副学長から、本件は、経営協議会で審議了承済みであることから、役員会での審議後、了承が得られれば、学内ホームページに掲載し職員に周知すること、また、その際、全職員に対して意見聴取を行い、提出された意見書を添えて、改正就業規則を労働基準監督署へ提出する予定である旨説明があった。

なお、評議員から、労働組合との交渉について質問があり、西川副学長から、大学としては他の国立大学法人の対応状況や今年度補正予算において運営費交付金が削減される予定であることを踏まえ、大学運営を考え対応している旨説明していること、組合からは代替措置に関して疑問を呈する意見があった旨回答があった。

また、評議員から、職員に対する意見聴取の方法や様式について質問があり、西川副学長からメール又は文書で全職員からできる限り徴収し、反対の意見書が多くても全意見書を添え、改正就業規則を労働基準監督署へ提出する旨回答があり、また、人事課長から意見書の様式は任意である旨回答があった。

さらに、評議員から、個別意見の聴取という方法は大学が雇用者と労働者の関係についてしっかり考えているのか疑問を持たれるのではとの懸念が表明され、西川副学長から、組合側もこの方法を認めている旨回答があった。

また、工学部長から、給与の減額にかかる代替措置として大学の一斉休業を実施するならより長い期間の休業が妥当ではないかとの質問があり、西川副学長から、琉球大学の学年暦を考慮した上での一斉休業の提案である旨回答があった。

(7) 全学教員人事委員会の審議結果について

大城副学長から、第112回及び第113回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

(8) 平成24年度琉球大学前期日程個別学力検査等の英語におけるリスニング機器不具合等に関する検証委員会の報告について

二木検証委員会委員長から、平成24年度琉球大学前期日程個別学力検査等の英語におけるリスニング機器不具合等に関する検証について、資料に基づき報告があった。

学長から、本検証結果を踏まえ、今後に活かしていきたい旨発言があり、また、新里副学長から、7月1日から1ヶ月間、学内ホームページに報告書を掲載する旨報告があった。

(9) 平成24年度九州地区国立大学・高等学校連絡協議会報告について

新里副学長から、平成24年度九州地区国立大学・高等学校連絡協議会について報告があった。

(10) 平成24年度科学研究費助成事業の採択状況について

研究協力課長から、平成24年度科学研究費助成事業の採択状況について、資料に基づき報告があった。

(11) その他

①「大学改革実行プラン」について

学長から、6月19日に開催された国立大学法人学長等会議において文部科学省から説明のあった「大学改革実行プラン」の骨子について、資料に基づき報告があった。また、学長から、大学改革実行プランの詳細については学内ホームページに掲載しているので、部局内において周知いただきたい旨発言があった。

教育研究評議会報

総務部総務企画課

日 時 平成24年7月24日（火） 14:00～15:10

審議事項

(1) 琉球大学大学院学則の一部改正（案）について

入試課長から、琉球大学大学院学則の一部改正（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

なお、工学部長から、今回の学則改正は大学院設置基準等の一部を改正する省令に基づくものであるが、今回の改正事項以外の省令改正部分についてはどう対応するのか質問があり、総務企画課長から、省令改正による他の改正事項についてはカリキュラムや学位に係るものであるので、全学教育委員会等で審議の上、今後改正する予定である旨回答があった。

(2) 琉球大学大学教育運営規則等の一部改正（案）について

教務課課長代理から、琉球大学大学教育運営規則等の一部改正（案）について、資料に基づき説明があった。

工学部長から、大学教育センター規則第3条及び全学教育委員会規程第2条の削られた項目について、その項目は同センター及び同委員会の任務等から削除されるのか又は他の組織に移行されるのか質問があり、大学教育センター長から、削られた項目の任務等は削除されたわけではなく、大学教育センター規則第3条第2号「大学教育の改善方針の立案に関すること」並びに全学教育委員会規程第2条第2号「大学教育の改善に関すること」に統括されそれぞれの任務等として残る旨回答があった。

法文学部長から、大学教育運営規則の第2条及び第3条について大学教育の基本方針と各学部における専門教育の編成について、規定の趣旨が明確ではないのではないかと指摘があり、次回再度審議することとなった。

(3) 木浦大学校（韓国）との大学間交流協定の締結について

国際課長から、木浦大学校（韓国）との大学間交流協定の締結について、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

また、国際課長から、8月6日木浦大学校総長が来学時に、協定調印式を行いたい旨説明があった。

(4) 教員の休職について

人事課長から、教員の休職について、資料に基づき説明があり、審議の結果、教員の休職が了承された。

報告事項

(1) 平成23年度監事監査意見書について

小池監事から、平成23年度監事監査意見書について、資料に基づき報告があった。

(2) 平成25年度概算要求事項について

親川副学長から、平成25年度概算要求事項について、報告があった。

(3) 全学教員人事委員会の審議結果について

大城副学長から、第114回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

- (4) 共通教育等科目のプロフェッサー・オブ・ザ・イヤー（平成２３年度）受賞者について
新里副学長から、共通教育等科目のプロフェッサー・オブ・ザ・イヤー（平成２３年度）受賞者について、資料に基づき報告があった。

(5) その他

①平成２４年度オープンキャンパス

学長から、７月２１日に平成２４年度オープンキャンパスが開催された旨報告があり、協力教員への謝意が述べられた。

なお、理学部長から、当日、オープンキャンパスによる交通渋滞がひどかったため、対策を考えてほしい旨要請があり、新里副学長から今後検討したい旨回答があった。

②国立大学法人琉球大学ハラスメント防止対策に関する指針の一部改正（案）について

新里副学長から、前回の教育研究評議会で質問のあった「意にそわない」との文言について、ハラスメント防止対策委員会の見解として、ハラスメントはどの形態であっても、関係の優位性を利用しているものであるもので、「意に反する」より広い意味である「意にそわない」へ統一した旨説明があった。

③大学教員の公募文書に記載する「女性研究者の積極的採用のためのポジティブアクションプログラム」（案）について

評議員から、前回の教育研究評議会で了承された大学教員の公募文書に記載する「女性研究者の積極的採用のためのポジティブアクションプログラム」（案）について、今後大学として具体的にどういった対応を取るのか質問があり、人事課長から、人事課から各学部等へ教員公募文書にキーワードの文言を入れるよう依頼している旨回答があった。

また、大城副学長から、アクションプログラムの達成状況について、法人評価の観点から、それぞれの学部等の取組みについて調査し、実績報告書で報告する可能性がある旨発言があった。

教育研究評議会報

総務部総務企画課

日 時 平成24年9月25日（火） 14:00～14:55

審議事項

- (1) 琉球大学大学教育運営規則等の一部改正（案）について
教務課長から、継続審議となった琉球大学大学教育運営規則等の一部改正（案）について、資料に基づき、前回指摘のあった規程の趣旨等の説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。
- (2) 附属図書館長の選考について
学長から、現附属図書館長の任期が平成24年10月31日で満了することに伴い、次期図書館長候補者として、伊澤雅子理学部教授を推薦したい旨の説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

報告事項

- (1) 平成24年人事院勧告について
人事課長から、平成24年人事院勧告について、資料に基づき報告があった。
- (2) 「国家公務員の退職手当の支給水準引き下げ等について（閣議決定）」について
総務部長から、「国家公務員の退職手当の支給水準引き下げ等について（閣議決定）」について、資料に基づき報告があった。
- (3) 全学教員人事委員会の審議結果について
大城副学長から、第115回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。
- (4) 女性研究者研究活動支援事業（概要）の実施について
総務部長から、女性研究者研究活動支援事業（概要）の実施について、資料に基づき報告があった。
- (5) 平成25年度概算要求事項について
財務企画課長から、平成25年度概算要求事項について、引き続き施設運営部長から平成25年度施設整備費等要求事項について、資料に基づきそれぞれ報告があった。
- (6) 学長表彰について
新里副学長から、理工学研究科の学生2名（平成24年度9月修了）を学長表彰したことについて、資料に基づき報告があった。
- (7) 琉大祭の実施について
新里副学長から、9月29日（土）・30日（日）に開催される第61回琉大祭の実施について、資料に基づき報告があった。
なお、台風が接近していることから、開催の可否については、9月27日（木）に決定する旨説明があった。

(8)平成24年度利益相反状況に関する自己申告書提出状況について

地域連携推進課長から、平成24年度利益相反状況に関する自己申告書提出状況について、資料に基づき報告があり、今後とも各部局等へ提出を呼びかける旨説明があった。引き続き、山崎副学長から、大学として100%の報告が求められていることから、自己申告書の提出に協力してほしい旨依頼があった。

(9)その他

①退職等に伴う委員の紹介について

学長から、9月30日付けで退職する委員の紹介があった。

②琉球学副専攻に係るワーキンググループについて

新里副学長から、琉球学を副専攻にするためのワーキンググループの設置について報告があり、各学部長へ関係教員を推薦いただきたい旨発言があった。

なお、教育学部長から、推薦手続きについて、あらかじめ推薦教員本人に確認を取るだけではなく、各学部の教授会で報告するなど、事前周知に配慮してほしい旨発言があった。

教育研究評議会報

総務部総務企画課

日 時 平成24年10月23日(火) 14:00～15:10

審議事項

＊ 審議に入る前に、学長から新構成員の紹介があった。

(1) 琉球大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理規則の一部改正(案)について
研究協力課長から、琉球大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理規則の一部改正(案)について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(2) 薬剤部におけるハラスメントに係る教員の懲戒処分審査について

新里副学長から、薬剤部におけるハラスメントに係る教員の懲戒処分審査について、ハラスメント防止対策委員会として、本件は「国立大学法人琉球大学ハラスメント防止対策に関する指針」に基づくハラスメントに該当し、かつ、本件の一部の事案については、ハラスメントによる人権侵害に該当する行為があったと判断した旨学長へ報告し、それを受けて、学長から医学研究科長と附属病院長に対し教授会で懲戒処分の有無について審議を依頼したところ、懲戒処分に該当するとの回答を得た旨の報告があった。これにより、本評議会では懲戒処分について審議をお願いしたい旨発言があり、審議の結果、了承された。

引き続き、新里副学長から、本評議会のもとに調査委員会を設置することについて提案があり、審議の結果、了承された。

また、調査委員会委員については、法文学部長、観光科学研究科長、教育学部長、理学部評議員、医学部評議員、工学部評議員、農学部長、熱帯生物圏研究センター長、法務研究科長の計9名をお願いしたい旨提案があり、了承された。

なお、医学研究科長から本件に関して謝罪があり、現在の薬剤部の状況は改善している旨発言があった。

(3) 熱帯生物圏研究センターとサバ森林局(マレーシア)との部局間交流協定の締結について

国際課長から、熱帯生物圏研究センターとサバ森林局(マレーシア)との部局間交流協定の締結について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

報告事項

(1) 全学教員人事委員会の審議結果について

大城副学長から、第116回及び117回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

(2) 平成23年度に係る業務の実績に関する評価結果(原案)について

大城副学長から、平成23年度に係る業務の実績に関する評価結果(原案)について、資料に基づき報告があった。

(3) 国立大学のミッション再定義（大学改革実行プラン）について

大城副学長から、国立大学のミッション再定義（大学改革実行プラン）について、資料に基づき報告があり、今後の対応等に関して各学部等へ協力依頼があった。

引き続き、学長から、本件について何か意見があればいつでもご連絡いただきたい旨発言があった。

また、工学部長から、学部と大学全体との調整について質問があり、学長から、現在、学長補佐を中心に検討中であり、今後さらに各学部との連絡を密にしたい旨回答があった。

評議員から、大学全体の取りまとめを行う事務を明確にし、密に連絡していただきたい旨要望があった。

さらに、法文学部長から、大学院の改組とミッション再定義の関係について質問があり、学長から、大学院の改組はミッション再定義も踏まえて考える必要がある旨発言があった。

(4) 学長選考実施計画について

山里学長選考会議委員長から、学長選考実施計画について、資料に基づき報告があり、10月24日に学内ホームページへ掲載する旨発言があった。

(5) 琉球大学学長の選考等に関する規則の一部改正について

山里学長選考会議委員長から、琉球大学学長の選考等に関する規則の一部改正について、資料に基づき報告があった。

(6) 学生援護会寄附状況について

新里副学長から、学生援護会寄附状況（平成24年度7月期）について、資料に基づき報告があり、寄附への謝意が述べられた。

(7) 学長補佐について

学長から、11月1日付けで、高良倉吉教授を学術文献担当の学長補佐に任命する旨報告があった。

(8) 第65回・66回琉大21世紀フォーラムの開催について

地域連携推進課長から、第65回・66回琉大21世紀フォーラムの開催について、資料に基づき報告があった。

(9) 論文不正防止対策検討委員会の検討状況について

高良論文不正防止対策検討委員会委員長から、同委員会の名称及びミッション並びに報告書の概要について報告があり、報告書はほぼ完成しており、教育研究評議会に報告書の公表を提案するに当たって、当事者への内容確認を予定している旨発言があった。

(10) その他

① 任期満了に伴う委員の紹介

学長から、附属図書館長の高良倉吉教授が10月31日付けで任期満了することに伴い、これまでの尽力に対し、謝辞が述べられた。

教育研究評議会報

総務部総務企画課

日 時 平成24年11月27日(火) 14:00～15:30

審議事項

＊ 審議に入る前に、学長から新構成員の紹介があった。

(1) 教員の休職について

人事課長から、教員の休職について、資料に基づき説明があり、審議の結果、教員の休職が了承された。

(2) その他

① 労働契約法の改正について

大城副学長から、労働契約法の改正に伴う教員の人事関係規程の見直しについて、全学教員人事委員会で審議を行った後に本評議会に諮りたい旨の提案があり、審議の結果、了承された。

小池監事から、事務職員や外部資金等で雇われている職員についても同時に検討していただきたい旨発言があり、学長から、早急に検討させる旨発言があった。

報告事項

(1) 平成23年度に係る業務の実績に関する評価結果について

大城副学長から、平成23年度に係る業務の実績に関する評価結果について、資料に基づき報告があった。

引き続き、大城副学長から、今年度の業務の実績及び平成25年度の年度計画の策定について、補足説明があった。

法文学部長から、総人件費改革に係る人件費の削減について、平成18年からの6年間で6%以上の削減があったという記述があるが、実際の削減率はいくらであるかとの質問があり、人事課長から、9.2%の削減であった旨発言があった。

(2) 平成23年度教員業績評価の公表について

新里副学長から、平成23年度教員業績評価の公表について、資料に基づき報告があった。

評議員から、未提出者の氏名の公表に至る経緯について確認があり、新里副学長から経過報告がなされ、公表を行うことは本評議会でも審議済みであるので、各教員が記載する「目標と自己点検評価」の提出については各部局等で周知いただきたい旨発言があった。

評議員から、公表の方法についてはもっと工夫をしてはどうかとの提案があった。また、和田副学長から、公的資金を受けている大学の社会への説明責任として教員の活動を公表する必要がある旨発言があった。

(3) 全学教員人事委員会の審議結果について

大城副学長から、第118回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

(4) 平成24年度利益相反マネジメント実施状況について

地域連携推進課長から、平成24年度利益相反マネジメント実施状況（第1回分）について、資料に基づき報告があった。また、産学連携の活動が無い場合にも無い旨記載し提出いただきたい旨要請があった。

引き続き、山崎副学長から、公的資金を受けている大学法人としては、100%の提出が求められているので、自己申告の提出について今後とも各部局等で周知いただきたい旨協力依頼があった。

(5) 平成25年度予算編成方針について

親川副学長から、平成25年度予算編成方針について、資料に基づき報告があった。

引き続き、親川副学長から、特例公債法案の成立に伴い、今後、執行が抑制されていた分の運営費交付金の入金がある旨報告があった。

(6) 国家公務員退職手当法等の一部改正について

西川副学長から、国家公務員退職手当法等の一部改正に係る法案が国会で可決成立し平成25年1月1日から施行されること、並びに改正内容について、資料に基づき説明があり、本件は11月7日の役員会で大学の方針を決定し、現在、組合との交渉を行っている旨報告があった。

工学部長及び教育学部長から、一斉に退職者が出た場合の対処について質問があり、学長から、学生の成績判定や単位の取得について支障がないよう学部として配慮いただきたい旨発言があった。引き続き、総務部長から、事務職員についても対処を要請している旨発言があった。

また、評議員から、組合との交渉状況並びに今後説明会があるかとの質問があり、西川理事から、交渉概要の説明があった後、説明会については今週中に実施予定である旨発言があった。

(7) 平成24年度卒業式・大学院修了式について

総務企画課長から、平成24年度卒業式・大学院修了式について、資料に基づき報告があった。

(8) 琉球大学学生援護会寄附金（12月期）の募集について

新里副学長から、琉球大学学生援護会寄附金（12月期）の募集について、できるだけ多くの教職員に協力いただきたい旨の依頼があった。

(9) 第67回琉大21世紀フォーラムの開催について

地域連携推進課長から、第67回琉大21世紀フォーラムの開催について、報告があった。

(10) その他

① 年末・年始の日程について

総務企画課長から、年末・年始の日程について資料に基づき報告があり、1月7日の学長年頭あいさつ及び新年賀詞交歓会への参加の依頼があった。

引き続き、総務企画課長から、12月11日開催の部局長等懇談会の開始時間の変更並びに終了後に臨時教育研究評議会を開催予定である旨報告があった。

臨時教育研究評議会報

総務部総務企画課

日 時 平成24年12月11日（火） 16:30～17:55

審議事項

(1) 医学部附属病院教員によるハラスメントに関する調査報告書について

川本委員長から、医学部附属病院教員によるハラスメントに関する調査報告書について、資料に基づき報告があり、本件の一部の事案については、「国立大学法人琉球大学セクシュアル・ハラスメントの防止のための指針」（旧指針）のセクシュアル・ハラスメントの定義に該当し、国立大学法人琉球大学医学部・附属病院職員就業規則の懲戒事由に該当すると判断した旨説明があった。

調査報告書の内容について、評議員から、ある事案に対してハラスメント行為があったと判断しながら就労環境が改善したということで懲戒事由にあたらないとする判断は、社会の理解は得られないのではないか、就労環境が改善したとする根拠が不十分ではないか、また、就労環境が改善したという判断は処分の量定に関わってくる問題ではないか等の指摘があった。

審議の結果、調査報告書の内容について、調査委員会でも再検討した上で、次回再度審議することとなった。

(2) 博物館学芸員養成のための全学組織の設置について

新里副学長から、博物館学芸員養成のための全学組織の設置について提案があった。

評議員から、全学組織の全体像が不明である、また、新しい委員会をつくる必要性があるのか等の指摘があり、教員養成運営協議会等の下で検討してはどうかとの意見もあった。

報告事項

(1) その他

① 〔学長選考関係〕投票の呼びかけについて

総務企画課長から、12月18日実施の学長候補者の意向調査について、投票を呼びかけてほしい旨依頼があった。また、12月12日から3日間不在者投票が実施される旨報告があった。

② 〔北朝鮮のミサイル発射関係〕発射期間の延長について

総務企画課長から、北朝鮮のミサイル発射について、発射期間の延長が考えられることの報告があり、情報が入り次第学内周知する旨発言があった。

③ 教員業績評価の審議について

評議員から、前回報告のあった平成23年度教員業績評価の公表について、本評議会でも審議された際の説明内容がどうであったかとの質問があり、後日、総務企画課において審議内容を確認することとなった。

教育研究評議会報

総務部総務企画課

日 時 平成24年12月25日(火) 14:00～16:10

審議事項

* 審議に入る前に、学長から、11月27日開催の教育研究評議会議事要旨について、報告事項(1)で言及のあった人件費の削減率の数値が誤っていたため、議事要旨では数値を修正した旨説明があった。

(1) 琉球大学学則の一部改正について

教務課長から、琉球大学学則の一部改正について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(2) 医学部附属病院教員によるハラスメントに関する調査委員会の報告書について

川本調査委員会委員長から、医学部附属病院教員によるハラスメントに関する調査委員会の報告書の内容について、前回の評議会での指摘を踏まえ再検討した結果、一部事案については、指導教員の変更という改善措置が講じられたことによりハラスメント行為の期間は短期間ではあったが、新指針のハラスメント定義に該当し、就業規則第54条8号の「ハラスメントによる人権侵害に該当する行為があった場合」の懲戒事由に該当すると変更したこと、また、職場環境の改善の有無については、本調査委員会のミッションではないため、当該記述を削除した旨、資料に基づき説明があった。

佐藤副学長から、指導教員の変更という措置をとったことに対して、本措置は二重処罰に当たらないかとの質問があり、法務研究科長から、数ヶ月後に指導教員の変更という改善措置がとられたことは量定に関わる問題であり、ハラスメントの期間の長さは懲戒事由に該当するかどうかの判定には関わらないと考えられる旨回答があった。

審議の結果、同調査報告書を了承した。

報告を受けて、学長から審査説明書作成委員会を設置することについて提案があり、審議の結果、委員会の設置が了承された。引き続き、新里副学長から、審査説明書作成委員会は、法文学部評議員、観光産業科学部長、教育学部評議員、理学部長、保健学研究科長、工学部長、農学部評議員、法務研究科教授、大学教育センター長及び附属図書館長で構成したい旨発言があり、併せて了承された。

なお、理学部長から、本件のような教員の処分に係る調査委員会や審査説明書作成委員会について、今後は理事・副学長も含めた構成にしてはどうかとの提案があった。

(3) 平成25年度学年暦(案)について

教務課長から、平成25年度学年暦(案)について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

法文学部長から、本件に関連し、学部長と学生との懇談会において、学生から、登録調整期間が短いのではないか、また、学期途中でも登録をやめることができるようにしてほしい等の意見があった旨発言があった。

(4) 琉球学副専攻の開設について

石原法文学部教授から、琉球学副専攻の開設について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(5) 国際交流協定締結基本方針の見直しについて

国際課長から、国際交流協定締結基本方針の見直しについて、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

理学部長から、協定期間の5年を目処に合意をもって協定を継続するのは、新規で締結されるものに限るのかとの質問があり、佐藤副学長から、今後締結されるものに適用されるが、すでに締結された協定についても、自動継続の際に実績に基づき協定を継続すべきかどうかの審議を国際交流委員会で行っている旨回答があった。

(6) 平成25年度教員活動評価の公表方法について

大学評価センター長から、教員活動評価の公表方法について、資料に基づき説明があり、引き続き、平成25年度教員活動評価の公表方法について、各部局等の意見を聴取し、それを踏まえて次回の評議会で審議したい旨発言があった。

法文学部長から、公表の希望についての意見は聴取しないのかとの質問があり、大学評価センター長から、公表の希望についての意見と併せて、希望しない場合の理由も聴取していただきたい旨回答があった。

これに対し、小池監事から琉球大学の規程では教員活動評価の結果を社会に公表するとあるので、この規程に従って検討を進めるのが筋であるとの発言があった。

なお、評議員から、大学の説明責任としての義務であることは理解しているが、公表方法については、活動をアクティブに行っている教員をアピールできるような方法に工夫していただきたい旨提案があった。

(7) 資料館（風樹館）の博物館相当施設への認定申請について

総務企画課長から、資料館（風樹館）の博物館相当施設への認定申請について、資料に基づき説明があり、審議の結果、文部科学省へ認定を申請することが了承された。

(8) 平成25年度琉球大学入学式・大学院入学式（案）について

総務企画課長から、平成25年度琉球大学入学式・大学院入学式（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

6. 報告事項

(1) 役員退職手当規程及び職員退職手当規程の改正について

西川副学長から、役員退職手当規程及び職員退職手当規程の改正について、資料に基づき説明があり、改正に当たり、労働組合と交渉を行ったが、結果として交渉は決裂した旨、また、12月18日開催の経営協議会及び12月20日開催の役員会で規程の改正が承認された旨報告があった。

評議員から、今後の手続きについて質問があり、西川副学長から、今後、全職員に対して意見聴取を行い、提出された意見書を添えて、改正規程を労働基準監督署へ提出する予定である旨回答があった。

また、評議員から、労働組合との労使交渉の状況について質問があり、西川副学長から、意見が平行線であるため交渉を終わらせてほしい旨並びに過半数代表者を早期に選出してほしい旨を組合へお願いしたが、12月12日の交渉において、交渉が決裂したことを両方で確認済みであるとの回答があった。

評議員から、組合との交渉の際の議事録について質問があり、西川副学長から、組合には議事要旨を作成して渡すと説明している旨回答があった。

なお、評議員から、職員の意見の聴取という方法で過半数代表者の意見としないだけでいただきたい、また、交渉の決裂は好ましくないので、粘り強い対応をお願いしたい等の意見があった。

(2) 全学教員人事委員会の審議結果について

大城副学長から、第118回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

(3) 給与削減に係る代替措置としての来年度の一斉休暇について

人事課長から、給与削減に係る代替措置として、沖縄での旧盆に当たる平成25年8月19日から21日の3日間を一斉休暇とする旨報告があった。

(4) 共通教育等における教員負担の軽減について

大学教育センター長から、共通教育等における教員負担の軽減について、資料に基づき報告があった。

(5) 全学防災訓練について

総務企画課長から、全学防災訓練について、資料に基づき報告があった。

(6) その他

① 学内不審者について

総務企画課長から、附属図書館において不審者が出た旨の報告及び注意喚起があった。

② 退職する事務系幹部職員の紹介について

西川副学長から、12月31日付けで定年退職する学生部長及び附属図書館事務部長の紹介があった。

③ 次期学長予定者について

学長から、12月18日及び19日に開催された学長選考会議において、次期学長予定者として、大城肇理事・副学長が選考された旨報告があった。

教育研究評議会報

総務部総務企画課

日 時 平成25年1月22日（火） 14:00～14:45

審議事項

＊ 審議に入る前に、西川副学長から新人事務系幹部職員の紹介があった。

(1) 教員の休職について

人事課長から、教員の休職について、資料に基づき説明があり、審議の結果、教員の休職が了承された。

報告事項

(1) 全学教員人事委員会の審議結果について

大城副学長から、第120回及び第121回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

(2) 平成24年度政府補正予算（案）について

財務部長及び施設運営部長から、平成24年度政府補正予算（案）に係る本学関連事項について、資料に基づき報告があった。

(3) 大学入試センター試験について

新里副学長から、大学入試センター試験について、資料に基づき報告があり、教職員の協力への謝意が述べられた。

(4) 平成25年度定例会議について

総務企画課長から、平成25年度の定例会議の開催予定について、資料に基づき報告があった。

(5) 地（知）の拠点整備事業について

山崎副学長から、地（知）の拠点整備事業について、資料に基づき報告があり、各部局において整備事業の構想等があれば提案いただき、琉球大学全体としてどう進めていくか検討していきたい旨発言があった。

評議員から、大学COC事業を進めるメリットはどのようなものがあるか、また、取組みを進めるに当たって、取りまとめる事務部はどこになるかとの質問があり、山崎副学長から、すぐに資金が獲得できるものではないが、地域における本学のブランド力の向上が期待できると考えている旨、地域連携推進課長から、現時点では学術国際部において対応する予定である旨、それぞれ回答があった。

(6) 日本学術会議九州・沖縄地区会議学術講演会の開催について

研究協力課長から、1月29日開催予定の日本学術会議九州・沖縄地区会議学術講演会の開催について、資料に基づき報告があり、各部局等への周知依頼があった。

(7) その他

①琉球大学うない研究者支援センターキックオフシンポジウムについて

西川副学長から、琉球大学うない研究者支援センター キックオフシンポジウムについて、資料に基づき報告があり、各部局等への周知依頼があった。

②教員活動評価の公表方法について

新里副学長から、教員活動評価の公表方法について、各部局から提出された意見の中で、公表予定の活動評価シートは個人情報に当たるのではないかとの指摘があり、顧問弁護士に確認した結果、同シートは個人情報に当たり、公表には本人の同意が必要であるとの回答があったため、大学評価センター会議において、教員活動評価の公表方法について検討を行い、本評議会に提案したい旨説明があった。

教育研究評議会報

総務部総務企画課

日 時 平成25年2月19日（火） 14:00～17:00

審議事項

(1) 平成25年度年度計画（案）について

大城副学長から、平成25年度年度計画（案）について、資料に基づき説明があり、一旦、各部局等へ持ち帰り検討の上、意見等があれば企画評価室まで連絡いただきたい旨発言があった。

教育学部長から、計画内容の具体性への指摘があり、学長から、これについては経営協議会でも指摘されたことであり、内容を具体的な記述にしていく必要がある旨発言があった。

また、大城副学長から年度計画策定に当たっての今後のスケジュールとして、3月開催の経営協議会、教育研究評議会及び役員会に諮った上で、3月末までに文部科学省へ提出する予定である旨の説明があった。

(2) 琉球大学大学院学則の一部改正（案）について

入試課長及び新里副学長から、琉球大学大学院学則の一部改正（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(3) 教員の休職について

人事課長から、教員の休職について、資料に基づき説明があり、審議の結果、教員の休職が了承された。

(4) 医学部附属病院教員によるハラスメントに関する審査説明書（案）について

浜崎委員長から、医学部附属病院教員によるハラスメントに関する審査説明書（案）について、資料に基づき報告があった。

引き続き、人事課長から、審査説明書（案）の内容が読み上げられた。

佐藤副学長から、一部事案について、本措置は二重処罰に当たらないかとの指摘があり、法務研究科長から、医学部において行った指導教員の変更という措置は「処罰」には当たらず、二重処罰には該当しないと考えられる旨回答があった。

また、評議員から、指導教員の変更は緊急の措置であり、処罰には当たらないのではないか、審査説明書（案）については、付帯意見も含めて審議していただきたい等の意見があった。

なお、法務研究科長から、審査説明書（案）の根拠法令の表記について指摘があり、当該箇所を修正することとした。

審議の結果、審査説明書（案）の量定の可否について、出席評議員による投票で決定することとし、投票の結果、出席評議員の過半数以上の同意を得られたことから、当該教員に「懲戒・停職10月」の審査説明書を交付することが了承された。

なお、学長から、国立大学法人琉球大学職員懲戒等規程（上原事業場）第5条第3項の規定により、当該教員へ審査説明書を交付した後、当該教員から14日以内に陳述請求があった場合には、教育研究評議会でも陳述の機会を与え、後に再審査することとした。

また、当該教員から陳述請求がない場合には、次回の教育研究評議会でも懲戒処分書（案）及び処分説明書（案）について審査を行う旨説明があった。

(5) 労働契約法の改正に伴う本学教員人事関係規程等の見直しについて（案）

大城副学長から、労働契約法の改正に伴う対応策を全学教員人事委員会で議論した旨経緯の説明があり、引き続き、人事課長から、労働契約法の改正に伴う本学教員人事関係規程等の見直しについて、資料に基づき説明があった。

大城副学長から、本件は継続審議としたい旨発言があり、3月5日までに各部局から意見を提出いただきたい旨依頼があった。

なお、評議員から、分野によっては非常勤講師の確保が難しくなる可能性があるため、もう少し内容を練っていただきたい、本件に関する説明会が実施されたが不十分ではなかったか、法律改正の対応として緊急に規程を改正することは少し無理があるのではないか等の意見があった。

(6) 教員活動評価の公表方法（案）について

新里副学長から、教員活動評価の公表方法（案）について、基本方針に基づき「年度目標・自己点検結果」シートの学内外への公表を行うが、公表に同意しない教員の活動評価シートについては公表しない旨、資料に基づき説明があり、審議の結果、了承された。

なお、現在、実施している平成24年度教員活動評価についても、公表の際には、各教員に確認し、公表に同意しない教員のシートについては公表しない旨、説明があった。

6. 報告事項

(1) 全学教員人事委員会の審議結果報告について

大城副学長から、第122回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

(2) 平成25年度政府予算案について

財務企画課長及び施設運営部長から、平成25年度政府予算案について、資料に基づき報告があった。

(3) 平成24年度政府補正予算案について

財務企画課長から、平成24年度政府補正予算案について、資料に基づき報告があった。

(4) 第68回琉大21世紀フォーラムの開催について

地域連携推進課長から、第68回琉大21世紀フォーラムの開催について、資料に基づき報告があり、各部局等への周知依頼があった。

(5) 「国公立大学を通じた大学教育改革支援」に関する講演会の開催について

大城副学長から、「国公立大学を通じた大学教育改革支援」に関する講演会の開催について、資料に基づき報告があり、各部局等への周知依頼があった。

(6) 全学防災訓練について

西川副学長から、2月7日に実施された全学防災訓練について、資料に基づき報告があり、参加部局への謝意が述べられた。

引き続き、西川副学長から、今後、参加部局から意見を提出してもらい、防災計画に活かしたい旨発言があった。

(7)平成25年度一般入試の入学志願者数等について

新里副学長から、平成25年度一般入試の入学志願者数等について、資料に基づき報告があり、あわせて2月25日、26日に実施予定の前期試験実施への協力要請があった。

(8)平成25年度新入生オリエンテーションについて

学生課長から、平成25年度新入生オリエンテーションについて、資料に基づき報告があった。

(9)その他

①会計検査について

財務企画課長から、4月9日から12日に会計検査が予定されている旨報告があり、各部局への協力依頼があった。

②化学物質管理規程（案）について

学長から、化学物質管理規程（案）について、次回評議会で説明予定であるため、配布資料を持ち帰りの上、一読いただきたい旨発言があった。

③那覇空港ターミナルビルからの注意事項について

新里副学長から、那覇空港ターミナルビル会社から本学に対して、卒業時期における学生のターミナルビル使用について注意があった旨報告があり、今後、各学部長及び学生への注意文書を送るので、各学部の教授会でも取り上げていただきたい旨発言があった。

④組合交渉について

西川副学長から、退職手当の削減等に関して、労働組合との交渉状況の説明があった。
評議員から、大学側から1月24日に提出された2件の文書について質問等があった。
西川副学長から、1月24日に発行した文書の内容について説明があり、議事録については、作成して組合に渡している旨発言があった。

また、評議員から、労基法等の主旨に則って充分に対応いただきたいとの意見があり、西川副学長から、社労士に相談の上、手続きを行っている旨発言があった。

⑤新任事務系幹部職員の紹介について

西川副学長から、新任事務系幹部職員の紹介があった。

⑥新役員及び副学長について

大城副学長から、新役員及び副学長について、資料に基づき報告があった。

臨時教育研究評議会報

総務部総務企画課

日 時 平成25年3月19日（火） 14:15～15:30

審議事項

(1) 医学部附属病院教員によるハラスメントに関する審査説明書に対する陳述等について

学長から、医学部附属病院教員によるハラスメントに関する審査説明書に対する陳述等について、当該教員から、代理人である弁護士の陪席の要請があった旨説明があり、弁護士の陪席の可否について、審議が行われた。

審議の結果、出席評議員の過半数の賛同が得られたため、弁護士陪席の上、当該教員から陳述が行われた。

陳述後、学長から、処分説明書（案）及び懲戒処分書（案）の可否について、今回投票を行うか、または、陳述内容を慎重に検討するための期間を設けて、次回に投票を行うかどうかとの提案があり、評議員から主に以下のような発言があった。

- ・今の陳述を受けて、直ちにあるいは次回の評議会で投票をやるのか。意見交換の場は設けないのか。
- ・次回、投票をしても考慮するものがないので、今回行っても構わない。
- ・陳述では調査報告書を否定する根拠が充分聞けなかったという印象があり、時間をかけても考える材料に乏しい。
- ・陳述者は医学部での手続きが適正さを欠いていたということを述べていたが、本学の規定では、医学部教授会の決定を学長が受けて、本評議会の決定に基づいて懲戒処分が行われている。その点は陳述者が誤解していると考えられる。
- ・陳述の冒頭で処分の取り消しを求めると述べながら、後半で「停職10月は重すぎる」という表現に変わっているが、取消と撤回は決定的に違う。量定が重すぎるというのは、懲戒事由があることを認めているという印象がある。
- ・陳述者が述べた基本的な論旨は、調査手続きが不十分であるということなので、その点を本評議会として見直す必要がなければ、そのまま手続きを進めても良いと考える。

審議の結果、投票を行うこととなり、人事課長から処分説明書（案）及び懲戒処分書（案）の読み上げがあった。

引き続き、投票が行われ、出席評議員の過半数以上の同意を得られたことから、医学部附属病院の当該教員によるハラスメントに関する懲戒処分として停職10月が了承された。

教育研究評議会報

総務部総務企画課

日 時 平成25年3月26日(火) 14:00～17:30

審議事項

(1) 平成25年度年度計画(案)について

大城副学長から、平成25年度年度計画(案)について、前回の本評議会及び経営協議会における指摘を踏まえ変更した点及び重点的な事項を中心として、資料に基づき説明があり、審議の結果、修正案について了承された。

引き続き、今後、役員会に諮った上で、3月29日に文部科学省へ発送する予定である旨の説明があった。

(2) 琉球大学国際沖縄研究所規則の一部改正(案)について

研究協力課長から、琉球大学国際沖縄研究所規則の一部改正(案)について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(3) 国立大学法人琉球大学情報セキュリティポリシーの一部改正(案)について

和田副学長から、国立大学法人琉球大学情報セキュリティポリシーの一部改正(案)について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(4) 国立大学法人琉球大学情報システム運用・管理規程の一部改正(案)について

和田副学長から、国立大学法人琉球大学情報システム運用・管理規程の一部改正(案)について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(5) 教員の休職について

人事課長から、教員の休職について、資料に基づき説明があり、審議の結果、教員の休職が了承された。

(6) 労働契約法の改正に伴う本学教員人事関係規程等の見直しについて

大城副学長から、労働契約法の改正に伴う本学教員人事関係規程等の見直しについて、全学教員人事委員会、本評議会及び経営協議会における指摘を踏まえ、「国立大学法人琉球大学非常勤講師実施要項」及び「国立大学法人琉球大学非常勤講師の雇用に関する申し合わせ」の一部改正については次年度以降の継続審議、その他の教員人事関係規程等は今年度中に改正したい旨説明があった。

引き続き、人事課長から資料の説明があった。

審議の結果、非常勤講師実施要項等を除き、原案どおり了承された。

なお、評議員から、非常勤講師を5年以上雇用して無期雇用となった後にカリキュラムが変更となった場合の対応はどうなるかの質問があり、大城副学長から、カリキュラム編成等に係る課題については、今後、検討を行っていく旨回答があった。

(7) 琉球大学名誉教授候補者の選考について

本事項の審議に入る前に、岩政学長及び新里副学長は候補者の対象となっていることから退席し、大城副学長が議事を所掌した。

続いて、人事課長から、各学部から名誉教授候補者として推薦のあった18人に対し、「琉球大学名誉教授称号授与規程」及び「琉球大学名誉教授授与規程に関する申合せ事項」に基づき適用条項の説明があった。引き続き、各部局長等から、名誉教授候補者の功績説明があり、その後、名誉教授の可否について投票が行われた。

投票の結果、推薦のあった18人のうち17人に名誉教授の称号を授与することが了承された。

(8) 学生の懲戒処分について

新里副学長から、学生の懲戒処分案についての学生生活委員会での審議結果について資料に基づき説明があった。

審議の結果、提案どおり、当該学生の懲戒処分が了承された。

(9) 論文不正防止対策検討委員会報告書について

高良論文不正防止対策検討委員会委員長から、論文不正防止対策検討委員会報告書について、資料に基づき説明があり、委員会として、「論文不正防止対策の提案」を学内外へ、「論文不正防止対策検討委員会報告書」を学内へ公表したい旨提案があった。

審議の結果、提案が了承された。

(10) 化学物質管理規程（案）について

親川副学長から、化学物質管理規程（案）について資料に基づき説明があり、次年度以降、本規程を制定していただきたい旨発言があった。

(11) その他

琉球大学に置く講座等に関する規則の一部改正（案）について

大城副学長から、琉球大学に置く講座等に関する規則の一部改正（案）について、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

報告事項

(1) 全学教員人事委員会の審議結果報告について

大城副学長から、第123回全学教員人事委員会の審議結果について、資料に基づき報告があった。

(2) 一般入試の状況等の報告について

新里副学長から、一般入試の状況等について報告があり、教職員の協力への謝意が述べられた。

(3) 学生援護会寄附受入状況（平成24年度12月期）について

新里副学長から、学生援護会寄附状況（平成24年度12月期）について、資料に基づき報告があり、寄附への謝意が述べられた。

(4) 国立大学法人琉球大学情報システム運用・管理規程に関する基準等について

- ・ 国立大学法人琉球大学情報格付け基準の一部改正
- ・ 国立大学法人琉球大学情報セキュリティ監査規程の制定
- ・ 情報システムのライフサイクルにおけるセキュリティ対策実施要項の制定
- ・ 情報システムにおける主体認証等に関する手順の制定
- ・ 情報システムの暗号と電子署名に関する基準の制定
- ・ 情報格付け取扱手順の制定

和田副学長から、国立大学法人琉球大学情報システム運用・管理規程に関する基準等の一部改正並びに制定について、資料に基づき報告があった。

(5) 博物館学芸員の全学WG設置について

新里副学長から、博物館学芸員の全学WG設置について、資料に基づき報告があった。

(6) その他

① 事務系幹部職員の人事異動及び退職等の紹介について

総務企画課長から、事務系幹部職員の人事異動及び退職等の紹介があった。

② 任期終了等に伴う委員の紹介について

学長から、3月31日付けで任期満了となる委員の紹介があった。

③ 退職役員等のあいさつについて

3月31日付けで任期満了する学長及び副学長から退任のあいさつがあった。